

平成 29 年 3 月 12 日 (日) 実施

第 36 回 建設業経理事務士検定試験 4 級 解説

〔第 1 問〕

- (1) (借) 現金 (資産) の増加 (貸) 資本金 (純資産) の増加
元入れ→資本金
- (2) (借) 当座預金 (資産) の増加 (貸) 借入金 (負債) の増加
支払利息 (費用) の発生
- (3) (借) 経費 (費用) の発生 (貸) 現金 (資産) の減少
工事現場の電話代は経費勘定で処理する。
- (4) (借) 旅費交通費 (費用) の発生 (貸) 現金 (資産) の減少
本社事務員の通勤定期代は旅費交通費勘定で処理する。
- (5) (借) 備品 (資産) の増加 (貸) 当座預金 (資産) の減少
小切手の振り出しは当座預金を減少させる処理をする。
- (6) (借) 完成工事原価 (費用) (貸) 外注費 (費用)
外注費を完成工事原価に振り替える

〔第 2 問〕

問 1

解答参照

問 2

問 2

- 1 (借) 当 座 預 金 ××× (貸) 現 金 ×××
当座預金 (資産) と現金 (資産) の取引 → A 交換取引
- 2 (借) 労 務 費 ××× (貸) 現 金 ×××
労務費 (費用) と現金 (資産) の取引 → B 損益取引
- 3 (借) 借 入 金 ××× (貸) 現 金 ×××
支 払 利 息 ×××
借入金 (負債) と現金 (資産) の取引 → 交換取引 ⇒ C 混合取引
支払利息 (費用) と現金 (資産) の取引 → 損益取引
- 4 (借) 備 品 ××× (貸) 当 座 預 金 ×××
備品 (資産) と当座預金 (資産) の取引 → A 交換取引
- 5 (借) 当 座 預 金 ××× (貸) 受 取 家 賃 ×××
当座預金 (資産) と受取家賃 (収益) の取引 → B 損益取引

〔第3問〕

4日	(借)	現	金	50,000	(貸)	当座預金	50,000		
10日	(借)	経	費	13,000	(貸)	現	金	13,000	
15日	(借)	外	注	費	30,000	(貸)	当座預金	30,000	
16日	(借)	当	座	預	金	700,000	(貸)	完成工事高	700,000
20日	(借)	給	料	130,000	(貸)	現	金	130,000	
27日	(借)	材	料	費	50,000	(貸)	現	金	50,000
28日	(借)	労	務	費	100,000	(貸)	現	金	100,000
30日	(借)	支	払	家	賃	45,000	(貸)	当座預金	45,000
31日	(借)	借	入	金	500,000	(貸)	当座預金	506,000	
		支	払	利	息	6,000			

現 金	
1 前期繰越	650,000
4 当座預金	50,000
10 経費	13,000
20 給料	130,000
27 材料費	50,000
28 労務費	100,000

当座預金	
1 前期繰越	950,000
16 完成工事高	700,000
4 現金	50,000
15 外注費	30,000
30 支払家賃	45,000
31 諸口	506,000

備 品	
1 前月繰越	300,000

借 入 金	
31 当座預金	500,000
1 前月繰越	800,000

資 本 金	
1 前月繰越	1,100,000

完成工事高	
16 当座預金	700,000
材 料 費	
27 現金	50,000

労 務 費	
28 現金	100,000

外 注 費	
15 当座預金	30,000

経 費	
10 現金	13,000

給 料	
20 現金	130,000

支払家賃	
30 当座預金	45,000

支払利息	
31 当座預金	6,000

〔第4問〕

当期末において工事はすべて完成し、引き渡しは完了しているので、材料費・労務費・外注費・経費をすべて完成工事原価に振り替える

(借) 完成工事原価	421,000	(貸) 材 料 費	168,000
		労 務 費	155,000
		外 注 費	80,000
		雑 費	18,000